

新春講演会のご案内

100年後を見据えた「まちづくり」に 本気で仕掛けたこれまでの挑戦！

日本のまちづくり最先端

高松丸亀町商店街に学ぶ！

高松市は人口約42万人の都市で、丸亀町商店街は、高松城築城とともに形成された400年の歴史を誇る高松の老舗商店街である。80年代には通行量が休日3.9万人、平日2万人ありました。95年から、郊外に大型ショッピングセンターが出来はじめ、影響を受けた商店街は通行量、売上ともに激減。また、地域経済も大きなダメージを受けました。「100年後」を見据えた「まちづくり」をしてきた丸亀町商店街は、再開発事業に着手。土地の「所有権」と「利用権」を分離した画期的な手法を採用し、開発業者に頼らず、地元主導で実現した事例は全国で注目されています。



全国を見ておられる古川氏から怠たのないお話をいただき三沢市の中心市街地、また「まちづくり」に関して、新しい力の源になるようなお話をいただき、有意義な時間にしたいと思います。

たくさんの方々のご来場をお待ちしております。

- 日時 平成26年1月8日(水)
午後4時30分～
- 会場 きざん三沢
- 受講料 無料
- 主催 三沢市商工会

【お申込み・お問合せ先】

三沢市商工会 総務課
三沢市幸町 2-1-1
TEL53-2175 / FAX53-2766
E-mail:mcci303@r66.7-dj.com



講師プロフィール

古川 康造 氏

高松丸亀町商店街振興組合理事長

昭和32年香川県高松市丸亀町生まれ。立命館大学経営学部を卒業後、大阪市の商社勤務を経て、昭和58年に故郷高松へ戻り、家業である電気店に勤める。平成7年から高松丸亀町商店街の再開発計画に参加し、平成19年理事長に就任。少子高齢化社会に対応した新しい形の地方自治組織の創設を目指して中心市街地再生に向け日々、精力的に取り組んでいる。主な公職として、内閣官房まちづくり伝道師、丸亀町不動産(株)代表取締役専務、経済産業省タウンプロデューサー、高松青年会議所元理事長等、現在、多くの公職を務める。